



イタリア信託統治領ソマリランド ビーチを歩く女性たち



トーゴランド 米テキサコ社のガソリンスタンドで(1958年、以下同じ)

AFRICAN MEMORIES OF 1958

鮮やかによみがえる 1958年のアフリカ

PHOTOGRAPHS BY TODD WEBB

1940〜50年代のニューヨークやパリで、街や人を生き生きと捉えた写真で知られるトッド・ウェブ。それらと一味違う記録写真が、58年に国連の依頼でアフリカ8カ国を回ったときのものだ。

トーゴランド(現トーゴ)、ガーナ、ケニア、ローデシア・ニヤサランド連邦(現ジンバブエ、ザンビア、マラウイ)、ソマリランド(現ソマリア)、スーダン、タンガニカ(現タンザニア)、ザンバル(現タンザニア)で撮影した約1500枚のうち、国連の冊子に使われたのは20枚未満。残りは散逸していたが、ようやく2017年に米メイン州の財団「トッド・ウェブ・アーカイブ」に収められ、今年1月出版の写真集『トッド・ウェブ・イン・アフリカ』に収録された。

第2次大戦後、植民地から独立へと歩むアフリカの姿が、いま鮮やかによみがえる。

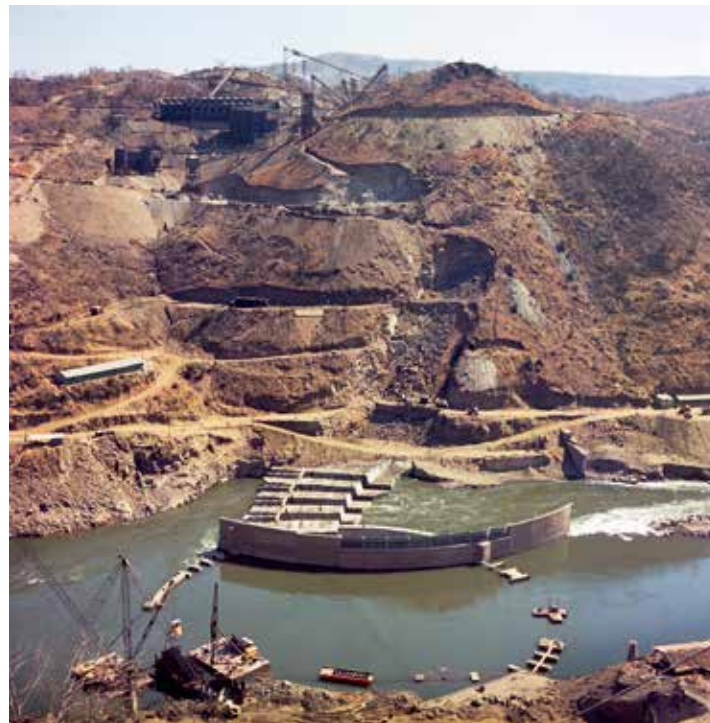
ガーナ 首都アクラにある国立博物館で



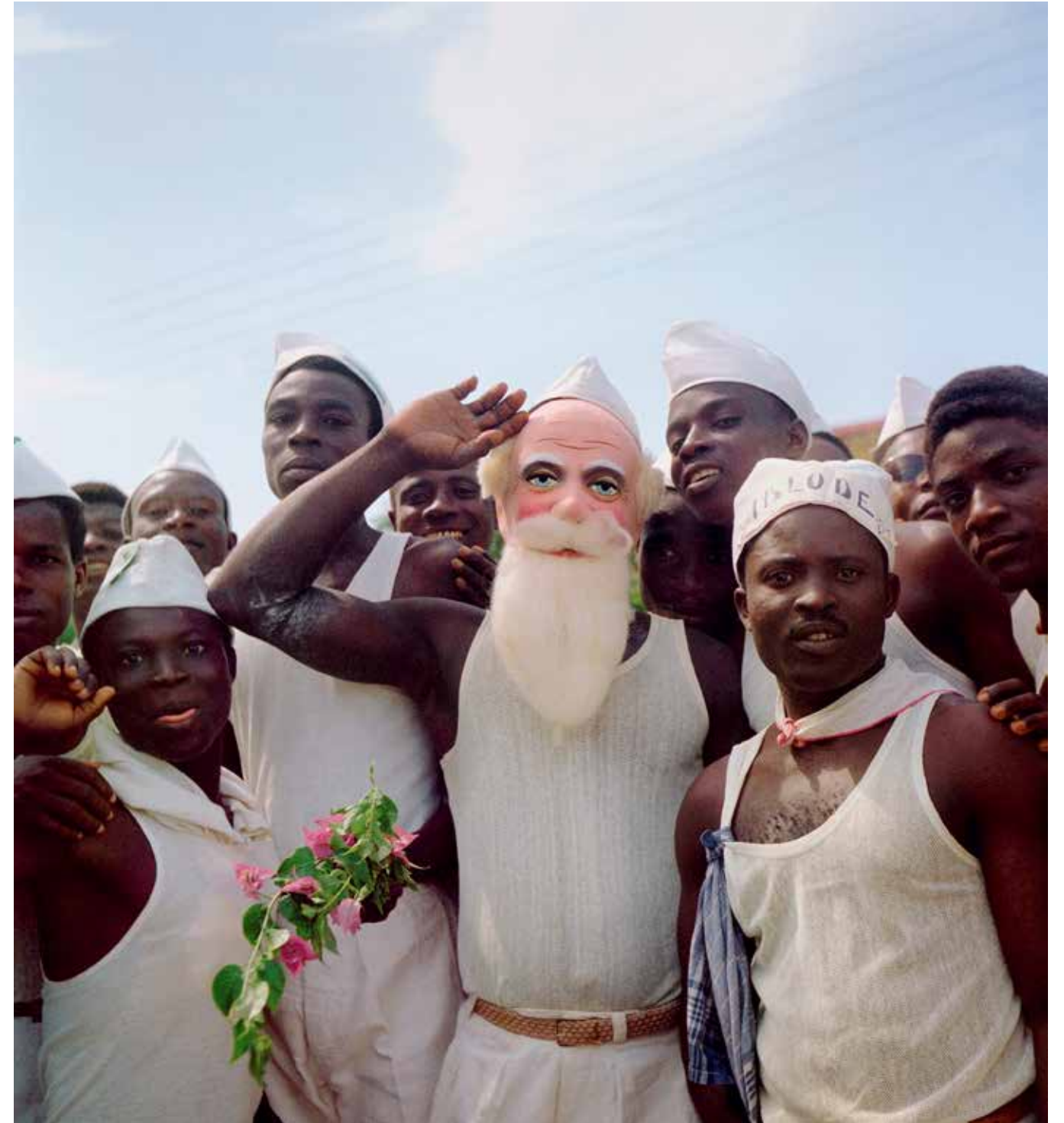
トーゴランド ロメ港で人と物を積み込む



ケニア イギリス植民者の農園を訪れたケニア人農民たち



北ローデシア(現ザンビア)と南ローデシア(現ジンバブエ)の境界
ザンベジ川中流のカリバダム建設現場

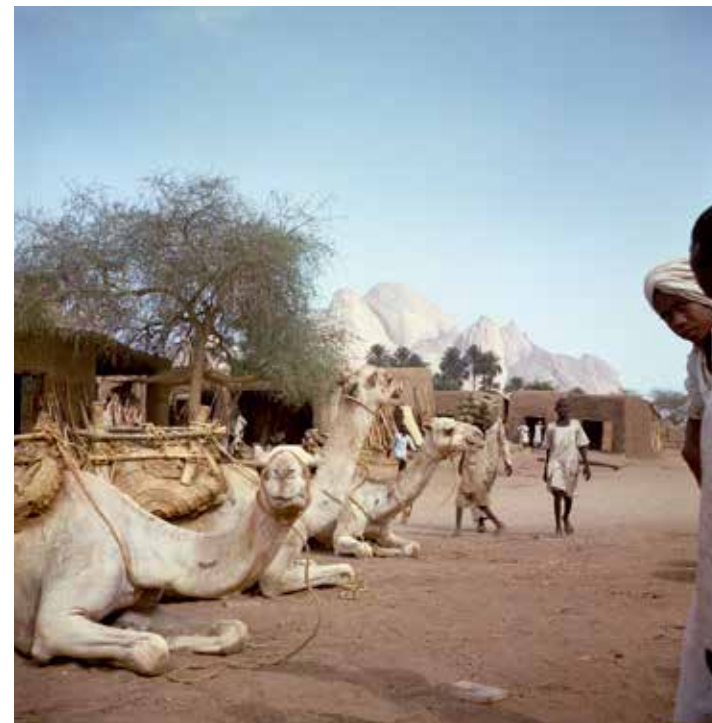


トーゴランド フランス施政下で総選挙のあった4月27日、ABLODE(自由)と書いた帽子やサンタの仮面をかぶる人々



タンガニーカ 警官と男性とインド洋

スーダン カッサラの丘陵地帯を背後に休むラクダたち



スーダン 港のそばでたたく男性



南ローデシア ブラウヨの街を歩く人々



トーゴランド ロメ港の埠頭を女性たちが行く

▶ Photographs by © 2021 Todd Webb Archive from "Todd Webb in Africa: Outside The Frame" published by Thames & Hudson |

撮影:トッド・ウェブ 1905-2000年。米デトロイト生まれのドキュメンタリー写真家。クライスラー・コーポレーションの輸出部に勤務していた1938年に、初めて写真を撮り始めた。42~45年、米海軍に従軍しニューギニアやフィリピンの設営部隊を撮影。55~56年には、米グッゲンハイム記念財団の助成を得て、アメリカ西部への移住者たちの痕跡を追った「Gold Strikes and Ghost Towns」などの本を出版した。ニューヨーク、パリのほか、スペイン、アフリカなど世界各地の都市、街、人々を記録した多くの作品を残している。この作品は、58年に国連の依頼でアフリカ8カ国を撮影し、いったん散逸したが近年発見された写真をまとめ、今年1月末に出版された写真集「TODD WEBB IN AFRICA: Outside The Frame」(英テームズ&ハドソン社)からの抜粋